

**杉林 堅次**(すぎばやしけんじ)

城西国際大学学長・特別荣誉教授。'76 富山大学大学院薬学研究所修士課程修了。薬学博士。'17 から現職。MSU (Management & Science University) 名誉博士。日本薬劑学会会長などを歴任。

**廣瀬 克哉**(ひろせかつや)

法政大学総長。'87 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。博士(法学)。'21 より現職。主な著書『自治体議会改革の固有性と普遍性』等。

**増田 尚史**(ますだひさし)

広島修道大学副学長。名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程単位取得満期退学。'00 博士(学術)。健康科学部長などを経て、'22 より現職。専門は認知心理学。

**岡田 忠克**(おかただかつ)

関西大学副学長。人間健康学部教授。'01 大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程単位取得退学。博士(学術)。大阪産業大学等を経て、'11 より現職。'22 より副学長。

**エスキルドセン, ロバート**(ESKILDSEN, Robert)

国際基督教大学学務副学長。スタンフォード大学にて博士(日本近代史)取得。国際基督

教大学上級准教授、教授を経て、'20 4 月より現職。主著『Transforming Empire in Japan and East Asia』。

**石川 さゆり**(いしかわさゆり)

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学大学事務局長。松山東雲短期大学保育科卒業。

**山田 健太**(やまだけんた)

専修大学文学部(ジャーナリズム学科)教授。'84 青山学院大学卒業。専門は言論法、ジャーナリズム研究。近著『沖繩報道』『法とジャーナリズム 第四版』。

**猪股 孝史**(いのまたたかし)

中央大学法学部長・教授。'89 中央大学大学院法学研究科民法専攻博士課程後期課程単位取得満期退学。専門分野民法学。'10 より中央大学法学部教授。

**村上 裕**(むらかみゆたか)

関東学院大学副学長・法学部教授。'88 一橋大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。学校法人関東学院評議員、法学部長などを経て、'22 より現職。

**小熊 誠**(おぐままこと)

神奈川大学学長。筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科単位取得中退。博士(文学)。専門は民俗学。主な著書『沖繩における門中の歴史民俗的研究』。

**山崎 剛**(やまざきつよし)

金沢美術工芸大学理事長・学長。'89 関西学院大学大学院博士課程前期課程修了(美学専攻)。文化庁文化財調査官、金沢美術工芸大学教授、学長補佐を経て、'18 より現職。

**倉田 信靖**(くらたのぶやす)

'09 9 月より学校法人東京国際大学理事長・総長に就任。大東文化大学名誉教授。ウィラメット大学名誉人文学博士。'21 秋の叙勲において旭日中綬章を受章。

**大西 晴樹**(おにしはるき)

学校法人東北学院院長。東北学院大学学長。'83 神奈川大学大学院経済学研究科博士課程満期退学。博士(経済学)。明治学院大学学長、明治学院学院長を経て、'19 より現職。

**樋野 興夫**(ひの おきお)

学校法人恵泉女子園理事長(21 7 月〜)、順天堂大学名誉教授、医学博士。島根県出身。著書に『われ21世紀の新渡戸とならん』

『がん哲学外来へようこそ』など。

**川野 徳幸**(かわののりゆき)

広島大学平和センター長・教授。'05  
広島大学大学院医歯薬学総合研究科博士課  
程修了。博士(医学)。'13より同センター教授、  
'17よりセンター長。専門は原爆・被ばく研究。

**山田 朗**(やまだあきら)

明治大学文学部教授・平和教育登戸研  
究所資料館長。'85東京都立大学大学院博士  
課程単位取得退学。博士(史学)。'99より現  
職。主著『大元帥昭和天皇』など。

**阿部 浩二**(あべこうじ)

明治学院大学国際平和研究所所長・国際  
学部教授。早稲田大学大学院法学研究科  
博士課程単位取得退学。博士(法学)。

**市井 吉興**(いちいよしふさ)

立命館大学産業社会学部教授。'00立命館  
大学大学院社会学研究科博士課程修了。  
博士(社会学)。専門はスポーツ文化研究。

**木本 晶子**(きもとあきこ)

広島修道大学健康科学部助教。広島大学  
大学院生物圏科学研究科修士課程卒業。  
安田女子大学を経て'21より現職。

**東郷 賢**(とうこうけん)

武蔵大学国際教養学部長・教授。'96 5月  
イェール大学大学院経済学博士号(Ph.D.)  
取得。主著『Miraculous Growth and  
Stagnation in Post-War Japan』(共著)。

**須賀 由紀子**(すがゆきこ)

実践女子大学生活科学部教授。筑波大学  
大学院体育研究科修士課程修了。体育学  
修士。'14より現職。共著『甘えと教育と日  
本文化』など。

**作田 良二**(さくだりょうじ)

松山大学経営学部経営学科教授。'99広島  
大学大学院教育学研究科博士課程単位取  
得満期退学。修士(教育学)。'07より現職。  
主著『入門・子ども社会学』(分担執筆)。

**青柳 美扇**(あおやぎびせん)

書道家・アーティスト。'13梅花女子大学日本  
文化創造学科書道コース卒業。世界10カ国以  
上で書道パフォーマンスを披露。「伝統×革新」  
をテーマに新しい書道の魅力を伝えている。

**脇浜 紀子**(わきはまのりこ)

京都産業大学現代社会学部教授。神戸大  
学法学部卒業。'90読売テレビ入社。'10大阪  
大学大学院国際公共政策博士取得。研究

分野は地域メディアと地域情報。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、  
できる限り統一して掲載いたしました。

## 会長の動き

- **9月9日(金)**  
国会議員に23区規制の緩和を要望
- **9月13日(火)**  
第5回常務理事会、第6回理事会に出席
- **9月28日(水)**  
永岡文部科学大臣に、全私学連合を代表して表敬訪問
- **9月29日(木)**  
国会議員に令和5年度の政府予算と税制改正を要望
- **10月4日(火)**  
文部科学省・経済産業省「デジタル人材育成推進協議会」に出席
- **10月4日(火)**  
第6回常務理事会に出席
- **10月5日(水)**  
国会議員に令和5年度税制改正「教育資金の一括贈与の非課税化」の延長を要望
- **10月5日(水)**  
日本私立大学団体連合会「私立大学の振興に関する協議会」を拡大して開催。50数名の国会議員の参加により、日本私立大学団体連合会の会長として私立大学の支援を要望
- **10月5日(水)**  
国会議員に令和5年度の政府予算と税制改正を要望

## ● 10月12日(水)

国会議員に令和5年度税制改正「教育資金の一括贈与の非課税化」の延長を要望

## ● 10月18日(火)

第7回常務理事会、第7回理事会に出席

## ● 10月28日(金)

松野官房長官と、大学拠点接種について意見交換

## 開催報告

## ● 9月5日(月)

令和4年度理事長会議(オンライン開催)

## ● 9月12日(月)

令和4年度第2回教学担当理事者会議(オンライン開催)

## ● 9月30日(金)

経営委員会人事労務検討分科会令和4年度第1回情報交換会(オンライン開催)

## ● 10月21日(金)

令和4年度国際連携委員会 オンラインシンポジウム

## ● 9月16日(金)～10月31日(月)

令和4年度国の補助金等に関する説明会(第1回オンデマンド配信)

産学協議会「産学協働による学生のキャリア形成支援活動」新たなインターンシップを核とした4類型の推進に向けて「メッセージおよび解説動画のオンデマンド配信」

国公私立の各大学団体と経団連が協議する「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」では、新しいインターンシップ(2023年度学部3年生から対象)を含む学生のキャリア形成支援活動を4つに類型化し、産学で推進することを合意しました。そこで、企業と大学に向けメッセージおよび4類型の解説動画をオンデマンド配信しています。

『私立大学学生生活白書2022』  
刊行

学生委員会学生生活実態調査分科会では、2021年9月から10月にかけて実施した「第16回学生生活実態調査」の分析結果をとりまとめた『私立大学学生生活白書2022』を刊行しました。

集計結果からはコロナ禍の影響を受けたと推測される学生生活の実態が浮き彫りになった項目などもあります。学生支援

をはじめとするさまざまな施策を講じる  
上での参考資料としてご利用ください。

▼各資料や開催の概要は、左記の  
私大連Webサイトをご覧ください。



私大連Webサイトにて  
各種活動に関する情報を公開

<https://www.shidairen.or.jp/>



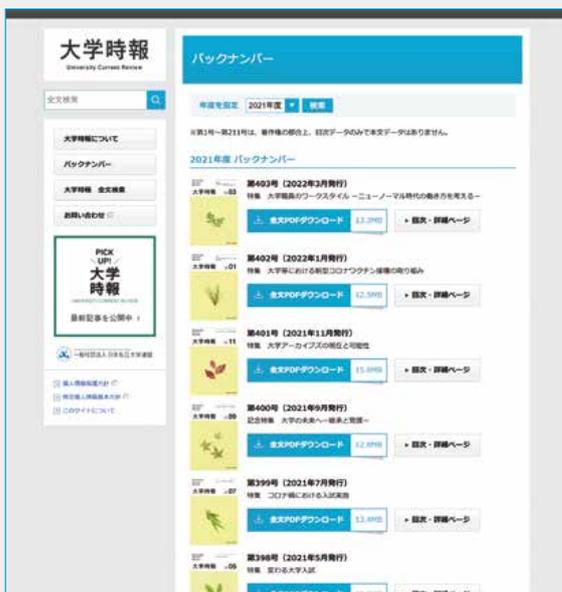
## 私大連TOPICS

### 『大学時報』アーカイブ完成のお知らせ

『大学時報』は、第344号（2012年5月発行）以降、デジタル版（PDFファイル）の公開と併せて、より多くの方に有効利用していただけるよう、バックナンバーのデジタルアーカイブ化を開始し、『大学時報』Webサイトにおいて随時公開してきました。

このたび、第1号から最新号まで、全ての号を網羅したアーカイブ化を完了しました。

掲載文字情報による、全文検索が可能となりましたので、ぜひご利用ください。



大学時報 バックナンバー  
<https://daigakujihou.shidairen.or.jp/list/>



知りたい!! 個性が光る取り組みサーチ 

# 私立大学 1・2・3 は私立大学と社会をつなげる

## 大学情報検索サイトです。

<https://topics.shidairen.or.jp> 私立大学 1・2・3 



### こんなときありませんか？

特色ある教育、最新の研究を行っている事例を知りたい!

共同研究・開発を考慮しており、実績のある大学を探している!

近隣の大学の教育や研究、地域貢献等の取り組みを知りたい!

### そんなときは、「私立大学 1・2・3」で

Step1

さまざまな条件で検索!

実施地域から探す

大学名から探す

キーワードから探す

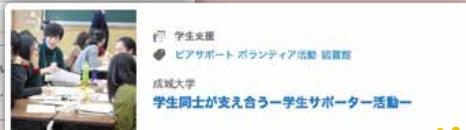
取組内容から探す

実施体制から探す

連携状況から探す

Step2

知りたい情報がすぐに出てくる!



※掲載取組事例の一部です。

Step3

各大学のウェブサイトにとべる!

「私立大学1・2・3」は、私大連加盟大学が発信した多様で特色ある取り組みを発見できる大学情報検索サイトです。

「私立大学1・2・3」に関する問い合わせ先 一般社団法人日本私立大学連盟広報情報課  
Tel:03-3262-8672 / E-mail:koho2@shidairen.or.jp



日本私立大学連盟

**座談会** 「コロナ禍の学生生活―課外活動を切り口として―」

**特集** 「“コロナ世代”の友だちづくり」

**小特集** 「ホームカミングデーの活性化に向けて」

**だいがくのたから** 金沢星稜大学

**大学点描** 皇學館大学

**クローズアップ・インタビュー**

森敏さん(東海大学国際文化学部教授、元ノルディック・コンバインド日本代表)

## 編集後記

◆大学のキャンパス移転という話題は社会から注目が集まる。学内外での波及効果も大きい。環境が変化することで新たな視点や関係性が生まれ、新たな人々の交流をもたらす。なにより何か大きな変革が始まることを期待せずにはられない。

本特集では、キャンパス移転を機会に改革に取り組む大学を紹介した。グローバル教育充実や学部新設・再編、文理融合型教育やカリキュラム改革推進、社会連携で大学と地域コミュニティとの交流・共生、利便性や施設充実で学生サービス向上など、移転の経緯やねらいは大学によって様々だが教育環境を進化させ、より魅力ある大学づくりを進めようとする関係者の思いは共通している。

大事なことは、改革を通じて大学の本质や存在価値が社会やステークホルダーに伝わるかどうかだ。時代に対応する研究・教育的価値と次代を担う人材育成を果たす社会的価値で未来を見据えた大学の統合的価値を追求し続けることが求められる。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・明治大学経営企画部広報課長 江津英昭〉

◆ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まってから9カ月が経過した。この間、大学では留学生の受け入れをはじめ、様々な形で支援に取り組んでおり、大学関係者にとっても改めて平和を意識するきっかけとなったことは間違いない。在学生を対象とした平和に関するセミナーや授業を開講している大学も数多く存在し、学生の皆さんにとっても自分事化して捉える機会となっているのではないだろうか。

本小特集では、広島大学の川野教授が次のとおり書いている。『教育には、次世代の「平和の担い手」を育成する力があり、またそうだった場所である』。これは、平和に対する大学の意義の一つなのではないだろうか。「いま、平和について考える」ことが次世代の「平和の担い手」を育成することにつながり、そのことが平和な社会の実現に寄与することを切に願いたい。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・法政大学多摩事務部長 多摩事務課課長 須藤智徳〉

◆何百枚も書いてたどり着く最高

の一枚―その一枚も、結果的に一枚目がよいという結論にたどり着くこともあるという。正解はなく、どこまで書き続けるかの見極めも必要。インタビューのゲスト、書道家・青柳美扇さんのお話から、地道な積み重ねと決断の先に、私たちが目にする作品が生まれるのだと知った。

座談会では、最善手にいかに近づくか、世界規模で試行錯誤を重ねた2年半を振り返り、新しい「普段通り」を模索する大学の姿を改めて知る機会となった。作品作りと同じく、厳しく難しい局面もあったことは想像に難くない。

2020年を境に、あらゆることの「普段通り」が一変した。大学という場、そこで学び・働く人々のあり方や意識も大きく変化する中で、安心・安全を前提として、学生生活の満足度や充実度、成長機会をいかに充足・確保していくか―大学の取り組みは、新たな日常に向かいながら現在進行形で進んでいる。「大学時報」がそのことを伝え、記録する役割を果たしていければと、願いを込めて取り組む日々である。〈日本私立大学連盟事務局 加賀崎奈美〉

# 一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (123大学 令和4年11月20日現在)

愛知大学	関西大学	南山大学	園田学園女子大学
亜細亜大学	関西学院大学	日本大学	大正大学
青山学院大学	関東学園大学	日本女子大学	拓殖大学
跡見学園女子大学	関東学院大学	ノートルダム清心女子大学	天理大学
梅花女子大学	慶應義塾大学	大阪学院大学	東邦大学
文教大学	恵泉女学園大学	大阪医科薬科大学	東北学院大学
筑紫女学園大学	敬和学園大学	大阪女学院大学	東北公益文科大学
中央大学	神戸女学院大学	大谷大学	東海大学
中央大学	神戸海星女子学院大学	追手門学院大学	常磐大学
大東文化大学	皇學館大学	立教大学	東京医療保健大学
獨協大学	國學院大学	立正大学	東京女子大学
獨協医科大学	国際武道大学	立命館大学	東京女子医科大学
姫路獨協大学	国際基督教大学	立命館アジア太平洋大学	東京経済大学
同志社大学	駒澤大学	龍谷大学	東京国際大学
同志社女子大学	甲南大学	流通科学大学	東京農業大学
フェリス女学院大学	久留米大学	流通経済大学	東京情報大学
福岡大学	共立女子大学	西武文理大学	東京歯科大学
福岡女学院大学	京都産業大学	聖学院大学	東洋大学
福岡女学院看護大学	京都精華大学	成城大学	東洋英和女学院大学
学習院大学	京都橘大学	聖カタリナ大学	東洋学園大学
学習院女子大学	九州産業大学	成蹊大学	豊田工業大学
白鷗大学	松山大学	西南学院大学	津田塾大学
阪南大学	松山東雲女子大学	聖路加国際大学	和光大学
広島女学院大学	明治大学	清泉女子大学	早稲田大学
広島修道大学	明治学院大学	聖心女子大学	山梨英和大学
法政大学	宮城学院女子大学	専修大学	四日市大学
実践女子大学	桃山学院大学	石巻専修大学	四日市看護医療大学
上智大学	桃山学院教育大学	芝浦工業大学	
城西大学	武蔵大学	白百合女子大学	
城西国際大学	武蔵野大学	仙台白百合女子大学	
順天堂大学	武蔵野美術大学	昭和女子大学	
金沢星稜大学	名古屋学院大学	創価大学	

## 大学時報

University Current Review

2022/11月号

第71巻407号(通巻420号)

令和4年11月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 植木朝子(同志社大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25  
私学会館別館

電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363

<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20  
明治安田生命大阪梅田ビル3階

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9

KEC銀座ビル9階

松田美佐(中央大学文学部教授)

須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)

中山映(上智大学学事局学事センター事務長)

依藤康正(関西大学総合企画室広報課長)

楊心来(関西学院広報室広報室長)

塩原良和(慶應義塾大学法学部教授)

江津英昭(明治大学経営企画部広報課長)

長野香(立教学院広報室長)

立岩健一(立命館大学総合企画部広報課長)

山田健太(専修大学文学部教授)

高橋慈海(大正大学魅力化推進部長)

大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)

五十嵐俊也(津田塾大学経営企画課課長)

鈴木宏隆(早稲田大学総長室募金担当部長)

齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)

加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)

森下真帆(日本私立大学連盟事務局)

